

⑩ジブトン天井



施工面がヤニやホコリ等で汚れている場合は水で濡らして固く絞ったタオル等で拭き取ってください。  
汚れが落ちにくい場合はリフレパウダー希釈水で拭き取ってください。



つなぎ目やクギ頭（ビス頭）等はおあらかじめ締めておきます。



リバーシシーラーを1回塗布し、よく乾燥させます。



リバーシシーラー乾燥後、水性シールパテ（シーラー・パテ両方の効果）で段差や凹凸のある部分にパテ処理をして平らにします。

※ヤヨイ水性シールパテ、または同等のパテをご使用ください。



パテ乾燥後、紙ヤスリをあてて平滑な面を作ります。  
作業後、まだ段差がある場合は平滑な面ができるまでパテ塗り→ヤスリがけを繰り返してください。



平滑な面ができたらパテの粉を取り除きます。濡らして固く絞ったタオル等でよく拭き取ってください。  
パテの粉が残っていると接着不良を招くおそれがあります。



2回目のリバーシシーラーを塗布し、よく乾燥させます。



ローラーまたは刷毛でリバーシコート塗布します。  
リバーシコート仕上げ（P.10参照）にする場合は、下地が見えなくなるまで複数回塗布してください。

⑪線維壁・綿壁（ある程度接着状態を保っている場合）



施工面がヤニやホコリ等で汚れている場合は水で濡らして固く絞ったタオル等で拭き取ってください。  
汚れが落ちにくい場合はリフレパウダー希釈水で拭き取ってください。



柱や壁などに養生してから、噴霧器でリバーシシーラーを2回噴霧してよく乾燥させます。

※1回目が乾いた後に2回目を噴霧してください。



リバーシシーラー乾燥後、プラゾールSS（または同等品）をローラーで塗布します。この作業により接着力を確保し、アクの流出を防止します。



プラゾール乾燥後、水性シールパテ（シーラー・パテ両方の効果）で段差や凹凸のある部分にパテ処理をして壁面を平らにします。

※ヤヨイ水性シールパテ、または同等のパテをご使用ください。



パテ乾燥後、紙ヤスリをあてて平滑な面を作ります。  
作業後、まだ段差がある場合は平滑な面ができるまでパテ塗り→ヤスリがけを繰り返してください。



平滑な面ができたらパテの粉を取り除きます。濡らして固く絞ったタオル等でよく拭き取ってください。  
パテの粉が残っていると接着不良を招くおそれがあります。



3回目のリバーシシーラーを塗布し、よく乾燥させます。



ローラーまたは刷毛でリバーシコート塗布します。  
リバーシコート仕上げ（P.10参照）にする場合は、下地が見えなくなるまで複数回塗布してください。